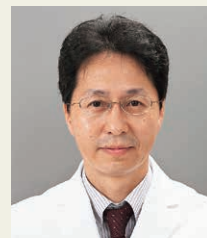


# 口腔育成系診療科 小児歯科

外来 外来診療棟C 3F 連絡先 022-717-8384・8385(外来)



科長  
福本 敏 教授

## 主な対象疾患

- 齲蝕 ● 歯髄炎 ● 歯肉炎 ● 歯周炎 ● 上唇小帯高位付着 ● 舌小帯強直症 ● 乳歯晚期残存 ● 過剰埋伏歯 ● 歯牙腫 ● 癒合歯
- 歯の萌出異常 ● 不正咬合 ● 習癖(指しゃぶり等) ● 歯の外傷

## 診療内容

当科では、小児の歯科治療全般を扱っております。歯科のユニット数は7台で、そのうち3台は個室となっております。宮城県内外からの紹介を受け東北地区の拠点診療室として先駆的な診療を行っております。

小児の齲蝕や歯周疾患の治療などの一般的な歯科治療のみならず、一般開業医において治療に際し不協力的な小児の歯科治療や、歯科診療を受容できるような行動トレーニングを行っております。また、過剰歯の抜歯、舌小帯や上唇小帯の切除術などの外科的処置、乳歯と永久歯の交換に伴う歯並びの異常に対する咬合誘導、全身疾患を有する小児の歯科治療や、歯科麻酔科と連携した鎮静あるいは全身麻酔による集中治療も行なっております。さらに口腔粘膜疾患や口腔習癖に対する治療など、小児期における歯科疾患のすべてに対応する診療科です。特に歯並びの治療に関しては、齲蝕等に起因する異常に関して早期に予測・診断し、顎顔面の成長を考慮しながら適切な時期での治療を開始します。また同一フロアにある矯正歯科と密な連携により、乳児期から学童期におけるシームレスな治療を行っております。

地域との連携に関して、保育所等の歯科検診や歯科保健指導、行政や歯科医師会と連携した歯科保健プログラムの立案や小児歯科診療に関する情報提供や研修プログラムを実践しております。日本小児歯科学会の専門医研修機関として専門医や専門医指導医の育成にも携わっております。

## 診療体制

日本小児歯科学会専門指導医3名、日本小児歯科学会専門医4名が専門診療に携わっております。診療に際しては、事前にカンファレンスを実施し、治療計画の立案から食生活習慣の改善まで幅広く対応しております。また診療に際して不協力的な小児に対しては、抑制下での治療の際にはパルスオキシメーターを装着し、安全性の確保に十分配慮し診療を行っております。小児の診療に熟知した看護師や衛生士を始めとするメディカルスタッフが、安全で確実な診療体制構築の為に治療のサポートを行っております。

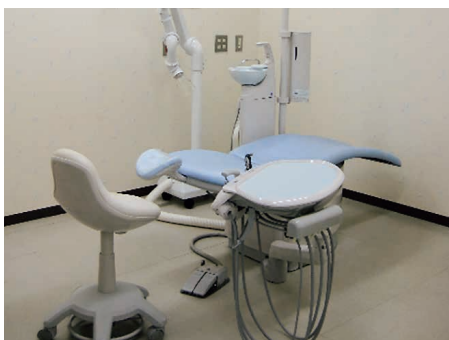
## 得意分野

主に一般の歯科医院において治療が困難な小児の歯科治療を担当しております。特に低年齢の歯科治療の実績は多く、全国でもトップクラスの症例数を経験しております。各種全身疾患を有する小児においては、小児科等の関連診療科と連携して診療を行っております。また静脈内鎮静法や全身麻酔下での集中治療も実施しております。

一般的な歯科治療のみならず、小児期の歯並びの治療、小児の口腔外科処置、障害児への対応など、小児期にかかわる歯科はすべて当科で対応しております。



小児に関連した診療科が配置された新外来診療棟3階。小児科等の医科診療科も隣接しており、相互に連携した小児医療が行われている。3部屋ある。



小児歯科の診療ユニット(個室)。オープンスペースに配置された歯科ユニットと共に、防音設備や酸素等の配管設備を有する個室が3部屋ある。

## ご紹介いただく際の留意事項

■新患日は、月、火、水、木、金曜日の午前中です。緊急性が考慮される場合は、午後でも新患を受け付けますが、事前に専門外来にご連絡ください。紹介状なしでも受診できますが、その際は初診時に特定療養費(3,300円)が算定されます。